

ちばの地域福祉

中核地域生活支援センター事業実施要綱の見直しについて

中核地域生活支援センター連絡協議会
副会長 寺田一郎（社会福祉法人ワナーホーム）

1月20日午前10時から、中核地域生活支援センター（以下「中核」という）代表者会議が教育会館で開催されました。テーマは「中核地域生活支援センター事業実施要綱の改正について」です。中核事業は健康福祉千葉方式から創設されましたが、そのあり方については、「中核地域生活支援センターあり方研究会」（平成19年～平成22年）の議論となり、さらに平成24年には健康福祉指導課から市町村に向けた「中核センター機能の市町村普及についての方向性」によって、「（国の）生活支援戦略の動向を踏まえながら、基礎自治体への機能普及とセンターの役割整理と広域化、専門化を進める」ことが示され、現在、県では、今後の中核事業について検討しているところであり、こういった状況を踏まえて、連協制度政策委員会では、正副会長を加えた拡大委員会として、実施要綱の改正案に係る協議をしてきました。中核創設後、障害者虐待防止法、障害者自立支援法（現障害者総合支援法）、生活困窮者自立支援法など中核創設当初の理念や機能が部分的に国によって制度化され、市町村の事業とされています。このことは中核事業の市町村への一部機能の移転でもあります。そのような社会的状況の変化を認識しながら、中核センターの理念として、総合相談の場であること、最後のセーフティネットとして広域性・高度な専門性を備えた支援であること、支援のスタンスは寄り添い支援であることを確認しました。その理念の下に①包括的相談支援機能、②コーディネート機能、③市町村のバックアップ機能、④権利擁護機能、⑤地域作り機能、⑥地域の実情に合わせた付加的機能という機能整理をし、連協としての実施要綱の改正案を県へ提案しました。

この改正案の背景は、以下の点です。

○障害児者福祉や障害者虐待並びに生活困窮に対する制度が整ってはきたが、中核センターの機能は創設当初と基本的には変わっていないこと。

○中核センターの活動を、個別の事業として列挙することは、中核の役割を限定的に捉えることとなりその機能を見えなくする恐れがあること。

○その点を考慮して、実施要綱改正案では、事業を列挙することなく、理念と機能を明示すること。

これらの理念と機能は、県とも十分に共有できるものと見込んでおり、この方向での要綱改正になるものと期待しております。また、要綱の中で、支援体制（第6条）、運営委員会（第7条）、連絡調整会議（第8条）などはこれから改正案を検討していきます。皆様のご意見をお待ちしております。

問題は今後の委託料です。現行の委託料は、2,360万円（松戸）、2,350万円（印旛）、2,000万円（習志野他）、1,860万円（野田、市原）と示されているように、既に地域間格差が生じています。要綱では一致していても、今後、中核の働きに幾らの値段がつくのか。さらに今年度から生活困窮者自立相談支援事業が施行されて、町村を有する6圏域については生活困窮者自立相談支援事業が中核とセットで委託されています。また、各市の取組み状況は、36市（千葉市を除く）のうち直営8か所、中核受託法人7か所、社協8か所、その他となっています（2015.3月現在、速報）。ここにもう一つの地域間格差が生じています。このように中核をめぐる動きは、一様ではなくなりつつあり、法人や地域の状況によってかなりの差異があります。

このことは今後の中核の運営を考えるうえで、重要な要素となってくることが予想されます。だからこそ、今回の要綱改正における理念と機能による一致は何とかして守りたいと思っています。

ちから ちばの福祉力・社会資源

NPO 法人ちば MD エコネット

NPO 法人ちば MD エコネット
理事長 山田 晴子

船橋駅から歩いて 10 分くらい、御殿通りという小さな通り沿いにコミュニティカフェひなたぼっこがあります。障がいのある人とない人が力を合わせて働いている喫茶店です。ひなたぼっこは船橋市の福祉作業所でもあり、ちば MD エコネットが運営しています。

ちば MD エコネットは、知的障がいのある人を中心に福祉・環境・まちづくり・人権に取り組む NPO 法人です。地域で障がいのある人とない人が共に生きていきたいという思いで、

1999 年に設立しました。最初に取り組んだのは、「障害者と共に創るコミュニティガーデン」でした。千葉工業大学の学生さんたちと一緒に、遊休農地にブルーベリーやブラックベリーを植えて、『友幸農園（ゆうこうのうえん）』と名付けて活動の拠点を作りました。

2000 年には、農園をつくった歩みと、知的障がいのある若者たちの普通の高校生活を描いたドキュメンタリー映画『ひなたぼっこ』を製作し、全国約 100 ケ所で上映しました。2002 年に船橋の本町 4 丁目、商店街の空き店舗を借りて、映画と同じ名前のコミュニティカフェひなたぼっこを開店しました。

ひなたぼっこでは、お客さまをお迎えして飲み物を運ぶ、ケーキを焼く、バザーの準備をするなど、みんなで分担して仕事をしています。カフェの仕事の他に公園の清掃、高根台の高齢者施設の清掃、本町通りのゴミ拾い、地域新聞の配布、その他軽作業などもしています。



ちば MD エコネットのもう 1 つの大きな事業は「ノーマライゼーション学校支援事業」です。障がいのある子や発達にさまざまな子が学校生活で困ったことがあるとき、相談を受け一緒に解決に取り組んでいます。個別相談と共に、年 4 回の研修とフォーラムを開催しています。船橋に来られることがあったら、ひなたぼっこにぜひ寄ってください。香りたかいコーヒーと手作りケーキ、おいしい食事を用意してお待ちしています。

◇ホームページや facebook で日々の様子をご覧になれます◇

ホームページアドレス <http://mdeconet.jp/>

facebook アドレス <https://www.facebook.com/cafe.hinatabokko>



ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた

聖徳大学短期大学部教授 蓑輪裕子

大学で住居学を教える傍ら、高齢者・障がい者のための住居、施設、街づくりに関する活動も行っている蓑輪先生にお話を伺いました。

福祉住環境に力を入れるのは自然の流れだった

住居学が専門で、主に福祉住環境について教えています。なぜ福祉住環境へ目を向けたかということ、住んでいた自宅、そして3世代で生活していたことに理由があると思います。自宅は伝統的な日本家屋でしたので、段差がたくさんありました。ある時、同居していた祖母がその段差につまずきけがをしてしまうことがあったのです。これがきっかけで、学生時代の研究テーマに「高齢者の住環境」を選び、そのまま現在の仕事につながっています。

地域社会ではバリアフリーが浸透しているとは言い難い

聖徳大学に着任してから、高齢者も障がい者も暮らしやすい街づくりに関する活動も行うようになりました。学術研究の中ではバリアフリーのノウハウは蓄積されているのに対し、地域社会ではそこまで浸透していないのだなと実感しました。浸透させるには、地域での実践しかありません。バリアフリーまつど市民会議というボランティアグループの仲間と、まちのバリア点検や、生涯大学・松戸まつり等でのユニバーサルデザインの紹介や車いす体験コーナー等の出店も行っています。参加者が自らバリアフリーについて考えることのできる講座を日々考えています。

物理的にも心理的にもバリアフリーを目指し、今後も活動していきたい

建築分野では、物理的な意味に加えて心のバリアフリーという言葉も大切にされていますが、精神科医療でも、心のバリアフリーという言葉を使っていることを知り、驚きました。全くの他業種で同じ言葉を使っていたからです。この心のバリアフリーも、障がいの有無に関係なく一緒に街づくりに参加することで自然と浸透していくのではないかと思います。物理的にも心理的にもバリアフリーを目指し、今後も活動していきたいですね。



蓑輪裕子（みのわゆうこ）

聖徳大学短期大学部教授
住居学・福祉住環境論などを担当し、高齢者・障がい者のための住居、施設、街づくりに関する研究を行っている。



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

第7回

はーとふるメッセ実りの集い

- 【日 時】平成28年2月27日（土）10：00～17：00
【会 場】イオンモール幕張新都心グランドモールグランドコート・グランドスクエア
【内 容】はーとふるメッセ実りの集いは、『働く障害者の仕事に光を当て、1人ひとりの豊かな社会参加を目指す！』をテーマに、障害のある人が豊かに地域で暮らすことの意義を広く問いかけるイベントです。

- 【プログラム】
≪販 売≫障害者福祉事業所で作られ、磨き上げられた品々を販売します。
≪表彰式≫「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2015」として、優れた製品を選定する食品部門・非食品部門を設け、大賞、奨励賞、審査員特別賞を贈ります。
≪ステージ≫☆小澤綾子さんの講演ライブ ☆千葉県警察音楽隊による演奏
☆昭和学院秀英高等学校・中学校ダンス部によるパフォーマンス
≪展 示≫工賃向上を取り巻く環境をパネルで紹介します。

- 【お問い合わせ先】 【参加費】 無料 【申 込】 不要
千葉県障害者就労事業振興センター TEL：043-202-5367
【主 催】 千葉県・千葉県障害者就労事業振興センター

平成27年度

福祉・介護・保育 合同面談会

- 【日 時】平成28年2月28日（日）10：00～13：00（受付：9：30～）
【会 場】京葉銀行文化プラザ（JR千葉駅東口より徒歩約3分）
【内 容】ミニ就職フェア（高齢者、障害児（者）分野） 6F ホール
保育フェスタ2（認可保育施設） 7F ホール

- 【入退場】 自由 【参加費】 無料 【服 装】 自由 【履歴書】 不要

同日開催≪就活メイクアップ講座≫
第一印象を良くするメイクアップを習得しよう!!
持ち物：私用のメイク道具、鏡（卓上タイプ）

- 【お問い合わせ先】
千葉県福祉人材センター TEL：043-222-1294
ちば保育士・保育所センター TEL：043-222-2668

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 代表者：中塚博勝

事務局：夷隅ひなた（夷隅圏域）いすみ市大原8927-2 TEL:0470-60-9123 FAX:0470-60-9124

編 集：君津ふくしネット（君津圏域）富津市青木2-16-14 TEL:0439-27-1482 FAX:0439-88-1481

※内容についてのお問い合わせは、君津ふくしネット（担当：玉手）までお願いします。